

お客様各位

株式会社 セゾンテクノロジー
HULFT テクニカルサポートセンター

HULFT10 における UTF-8 から EBCDIC セットへの 文字コード変換での障害について

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
HULFT10 Ver.10.2.0 において、バックスラッシュ(\)を意味する文字コードを、UTF-8 から特定の EBCDIC の文字コードセットに変換する際に、誤った変換が行われる障害を確認いたしました。

発生した障害について下記の通りご報告いたします。

お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、修正版である Ver.10.2.0A のインストールをお願いいたします。

－記－

■ 発生事象

UTF-8 のバックスラッシュ「0x5C(\)」を、z/OS および IBM i で使用される EBCDIC の文字コードセット（※）にコード変換する際、「\」になるべき箇所が「¥」に変換されます。

※対象 EBCDIC コードセット

- ・ IBM 英小文字
- ・ IBM 英小文字拡張
- ・ IBM カナ文字拡張

■ 影響を受ける製品及びバージョン

- ・ HULFT10 for Windows Ver.10.2.0
- ・ HULFT10 for Linux/AIX Ver.10.2.0
- ・ HULFT10 for IBMi Ver.10.2.0

■ 影響範囲

データ転送時のコード変換処理に加えて一部の関連機能にも影響を及ぼします。
詳細につきましては、各製品のリリースノートをご参照下さい。

[【HULFT10 for Windows リリースノート】](#)

管理番号	内容
HULFT-30048	配信側変換での配信で転送データのバックスラッシュの半角文字が、円マークの半角文字に変換される場合がある

[【HULFT10 for Linux/AIX リリースノート】](#)

管理番号	内容
HULFT-30049	配信側変換での配信で転送データのバックスラッシュの半角文字が、円マークの半角文字に変換される場合がある

[【HULFT10 for IBMi リリースノート】](#)

管理番号	内容
HULFT-30058	集信側変換での集信で転送データのバックスラッシュの半角文字が、円マークの半角文字に変換される場合がある
HULFT-30058	結合ファイル分解（UTLBREAK）で結合ファイルに結合されているデータのバックスラッシュの半角文字が、円マークの半角文字に変換されて分解される場合がある
HULFT-30058	メッセージおよび拡張メッセージ内に特定の文字コードが存在する場合、円マークの半角文字に変換される場合がある

■ 回避策

以下の製品をご利用ください。

- ・ HULFT10 for Wndows Ver.10.2.0A
- ・ HULFT10 for Linux/AIX Ver.10.2.0A
- ・ HULFT10 for IBMi Ver.10.2.0A

■ 対応

本障害を修正した、以下の製品を 2025 年 5 月 19 日にリリースいたしました。

- ・ HULFT10 for Wndows Ver.10.2.0A
- ・ HULFT10 for Linux/AIX Ver.10.2.0A
- ・ HULFT10 for IBMi Ver.10.2.0A

また、修正版リリースに伴い、以下の製品のダウンロードおよびプロダクトキー発行は停止いたします。

- ・ HULFT10 for Wndows Ver.10.2.0
- ・ HULFT10 for Linux/AIX Ver.10.2.0
- ・ HULFT10 for IBMi Ver.10.2.0

■ 本件に関するお問合せ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

【改訂履歴】

2025 年 05 月 02 日	初版作成
2025 年 05 月 19 日	影響範囲を追記 リリースに伴い対応の記載を変更